

特 記 仕 様 書

業務番号 上農水(整委)第7号

事業名 基幹水利施設管理事業

業務名 相基幹第77号委託

業務場所 十和田市大字法量地内外

履行期間 契約締結日の翌日 ~ 令和9年3月10日

測量業務及び流量観測業務特記仕様書

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条 本業務は、「測量業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）及び青森県農業農村整備事業設計業務マニュアル（以下「設計業務マニュアル」という。）によるほか、この特記仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条 この業務は、青森県上北農林水産事務所が管理する基幹水利施設に関連する河川横断及び河川流量を把握し、適正な利水管理を図ることを目的とするものである。

(業務場所)

第1-3条 業務場所は、十和田市大字法量地内（奥入瀬川、法量橋地点）及び上北郡東北町大字大浦地内（砂土路川、菩提寺橋地点）で、別添位置図に示すとおりである。

(業務概要)

第1-4条 業務の概要は、「別表1」に示すとおりである。

第2章 測量業務

(基本条件)

第2-1条 測量成果は、本業務全体の精度等を左右する基礎であることを十分認識のうえ、線形は管理技術者が現地で選定するものとする。

(測量業務内容)

第2-2条 測量業務の内容は、別添「積算数量表」のとおりである。

(障害物の伐採)

第2-3条 調査職員の指示を受けないで伐採したもの又は不注意により伐採したものの補償は、受注者の責任において処理する。

(測量業務の留意点)

第2-4-1条 測量業務の実施に当たり特に留意する点は、次のとおりである。

- 1 河川横断測量は、河川流量測定開始前に行なう。なお、大雨等により河川流況が著しく変化した場合は、調査職員と協議するものとする。
- 2 河川横断測量は、発注者が設定する3断面/箇所で行う。
- 3 横断測量間隔について、河床部の変化点に留意し、適宜設定するものとする。
- 4 杭は、極力無くない位置に設置する。

5 杭の規格は、青森県農業農村整備事業測量作業規程に準じる。

(流量観測業務の留意点)

第2-4-2条 測量業務の実施に当たり特に留意する点は、次のとおりである。

- 1 河川流量測定の主目的は水位流量曲線の作成にあることから、測定時期について気象予報等を参考に水位の変動に十分留意して行う。
- 2 河川流量測定時には量水標の水位を併せて記録し、水位流量曲線作成の際の「水位」は量水標水位とする。
- 3 河川流量測定は、水位により流速計測法又は浮子測法により行う。なお、低水位・平水位・高水位については、調査職員から別途提示する。
- 4 河川流量測定作業に併せ、作業状況・量水標・河川全景（上流から下流を望む）の写真撮影を行うこととする。
- 5 河川流量測定については、稲生川用水管理に密接に関係し、用水管理システムに結果を入力する必要があることから、実施前に稲生川土地改良区工事課（十和田市稲生町1-36）と打合せの上測定することとし、実施状況を適時調査職員に報告する。

(測量の基準及び精度等)

第2-5条 本業務の実施に必要な条件は、次のとおりである。

- 1 測量の基準は、世界測地系に基づく平面直角座標系（公共座標）による。
- 2 測量及び面積測定の精度区分は、不動産登記規則による。
- 3 縮尺は、原則として1/100とする。

第3章 参考図書・貸与品・打合せ・成果物

(参考図書)

第3-1条 作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、次によるものとする。

名 称	編集・著書・発行所	制定（改訂）年月
青森県農業農村整備事業 測量作業規程	青森県農林水産部 農村整備課	令和7年10月

(貸与品等)

第3-2条 貸与品は、「別表2」に示すとおりである。貸与後は必要事項をコピーするなどし、速やかに返却すること。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

- 第3-3条 前2条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料等の取扱いは次のとおりとする。
- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項で、相互に矛盾がある場合や解釈に疑義が生じた場合は、調査職員と協議するものとする。
 - 2 参考図書は、作業時点の最新版を用い、作業中に改定された場合には、調査職員と協議するものとする。
 - 3 貸与資料は原則として、第1回打合せ時に一括貸与するものとし、調査職員の請求があった場合のほか、完了時に一括返納しなければならない。

(打合せ)

- 第3-4条 打合せ時期及び回数等は、「別表3」に示すとおりであり、打合せ簿をその都度取り交わすものとする。

(成果物)

- 第3-5条 提出すべき成果物は、「別表4」に示すとおりである。
- なお、取りまとめにあたっては、下記項目により作成するものとする。
- | | |
|------------------|-------------|
| ①見取り図（概略平面） | ⑥Q1-Q比較表 |
| ②観測流量表 | ⑦作業状況写真 |
| ③水位流量計算書 | ⑧観測野帳 |
| ④H- \sqrt{Q} 図 | ⑨横断図 |
| ⑤水位流量曲線図 | ⑩流速計係数試験成績書 |

(成果物の装丁等)

- 第3-6条 成果物の装丁等は、下記によるものとする。
- 1 業務報告書は、できるだけ分冊を避けること。
 - 2 装丁等の詳細は、「設計業務マニュアル」の第1章 設計業務報告書標準様式によるものとし、必要に応じて工種・路線名を明記すること。
 - 3 受注者は、「青森県電子納品運用ガイドライン」に基づいて作成した電子データにより、成果品を提出するものとする。なお、ガイドラインで特に記載が無い項目については、調査職員と協議のうえ決定するものとする。
 - 4 提出先は、青森県上北農林水産事務所（十和田市西二番町10-21）とする。

第4章 その他

(電子納品業務)

- 第4-1条 本業務は、電子納品業務であり、下記によるものとする。
- 1 電子納品対象は、報告書、数量計算書等、図面、現場写真とし、作成要領は国土交通省が定める「工事完成図書の電子納品要領（案）」、「デジタル写真管理情報基準（案）」、「CAD製図基準（案）」によるほか、「青森県電子納品運用ガイドライン」による。
 - 2 成果品の電子媒体は、正・副それぞれに同様のものを添付すること。

- 3 国土交通省が定める電子納品に関する要領・基準は、国土交通省国土技術政策総合研究所のホームページ【 <http://www.nilim-ed.jp> 】よりダウンロードできる。
- 4 「青森県電子納品運用ガイドライン」は整備企画課ホームページ【 <http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/cals.html> 】の「CALS/EC」のページよりダウンロードできる。

（積算内訳書）

第4-2条 積算内訳書は別添「積算数量表」に基づき作成すること。なお積算に当たっては「積算参考資料」を参照のこと。

（履行報告）

第4-3条 履行報告は、調査職員指定の様式で毎月1部、調査職員の指定する日に提出すること。

別表 1 業務概要

項 目	内 容
1 河川横断測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法量橋地点（奥入瀬川） L=0.1km ・ 菩提寺橋地点（砂土路川） L=0.1km
2 河川流量観測	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法量橋地点（奥入瀬川） 低水位、平水位、高水位 各3回 ・ 菩提寺橋地点（砂土路川） 低水位、平水位、高水位 各3回

1 河川横断測量の位置は、上記2地点それぞれ、流量観測位置及び同位置から50m上・下流側の3ヶ所である。

2 河川流量観測における、低水位・平水位・高水位は、調査職員から別途提示する。

別表 2 貸与品

貸 与 資 料 名	部 数	備 考
過年度の委託業務報告書	1 部	相基幹第73号委託ほか

別表 3 打合せ

業 務	作業段階	回 数	内 容
測 量	業務着手前	1 回	・ 業務の基本的事項及び業務計画、測量及び観測方針について
	中間打合せ	1 回	・ 測量及び観測結果の状況等について
	報告書原稿作成段階	1 回	・ 測量成果物の取りまとめ方について

別表 4 成果物

成果品名	内 容	規 格	部 数
業 務 報 告 書	河川横断測量・河川流量観測	A 4 判	2 部
図 面	横断図（A 4 に折り報告書へ収納）	A 1 判 A 3 判	2 部 2 部
電 子 媒 体	業務報告書及び図面のデータ	CD-R 又は DVD-R	正副各 1 部
※ 装丁はチューブファイルとし、マイラー原図の提出は要しない。 ※ 業務報告書は可能な限りMicrosoft Word・Excel形式で作成すること。			